

## 泉南市第4次総合計画基本構想

### 将来像

地球環境の時代における新しい海上空港である関西国際空港のあるまちとして、そして、農業地域でもある特性を背景として、市民の水や緑などの自然環境に対する関心は大きいものがあります。一方で21世紀は、少子高齢化、人口減少の時代であり、インターネットをはじめとした高度情報化の時代でもあります。我が国は欧米諸国なみの生活水準をめざしてきた時代を経て、平和・人権をはじめとした国際社会への貢献がより一層求められてきています。

世界に近くなったわたしたちのまちも、このような動きをふまえ、先進的な取り組みを進めていく必要があります。高度経済成長期から成熟化の時代を迎えて、地方分権の動きも加速することが予想されます。これまで蓄積してきたまちの資源や原風景、個性を活かすことや、既存産業の振興とともに新たな産業を起こしていくことは、市民がまちに魅力を感じ、定住していくために重要な要素となります。さらに、次世代の若い人材を育成していくためにも教育や福祉面での充実が必要となります。地方分権社会は、自律と責任を基本としたまちづくりの推進でもあり、個性を活かした、夢のあるまちづくりでもあるのです。

このような時代の流れの中で、本市は、これまでより一層、市民・事業者・行政がともに手を携えて、自律的なまちづくりを進めるとともに、他の地域との交流・連携を図るネットワーク型のまちづくりを推進することも重要となっています。さらに、水、緑といった自然と対話しつつ、夢のあるまちをつくっていくことが求められています。

「水」はあらゆる生物の生存に欠かせない最も重要なものです。安全でおいしい飲料水の確保、海辺や川・ため池などの保全と活用により、水とのふれあいのあるまちをつくります。

「緑」はきれいでおいしい空気をつくるために必要なものです。また、豊かな緑はひとの心を癒してくれます。山なみの緑や農地の保全を図り、緑豊かなまちをつくります。

「夢」は人々に希望を与えてくれます。市民・事業者・行政が共有できる夢を描き、いきいきとした生活や活動が営まれるなど、未来に向けて発展していくまちをつくります。

「生活創造都市」には、このような豊かな自然を舞台として、そこで生活する市民が地域の環境やまちづくりに関心を高め、新たな地域創造に参加していく過程そのものが重要であるという思いをこめています。

以上の考え方をもとに、本市の将来像を次のように定めます。

水・緑・夢あふれる生活創造都市 泉南